

他市町村事例調査結果

運行の種別	市町村	主な特徴	ページ
定時定路線	飯田市	収支率が良い(35~44%)	2~3
	宇都宮市	合併前の旧上河内町路線を宇都宮市が引き継ぎ	
	雲仙市	バスのほか、ジャンボタクシー、小型タクシーを使用	
	木曽町	〃	
	郡上市	中心市街地~山間地路線と市街地循環型路線(まめバス)	4~5
	江南市	使用車両はすべて小型タクシー	
	四万十市	バスのほか、ジャンボタクシーを使用	
	多治見市	中心市街地のみ便数が多い。収支率が良い(約50%)	6~7
	中川村	バス2台。ルートが複雑。	
	米原市	早朝から夜間まで運行	
	前橋市	中心市街地~周辺地域路線。収支率が良い(約50%)	
	三好町	便数が多く21:00過ぎまで運行。通勤利用が多い。	
	四日市市	往復3路線。収支率が良い(31~39%)	
デマンド	飯田市	中山間地。定時定路線	8~9
	稲敷市	市全域で実施。停留所間の乗合	
	雲仙市	定時定路線	
	大野町	バス停間の乗合。出発時刻(便数)が決まっている。	
	木曽町	周辺地域と乗継ポイントを結ぶ	
	郡上市	定時定路線	
	江南市	市全域で実施。料金はタクシーの1/2もしくは1/3、300円から。	
	酒々井町	町全域で実施。スクールバスと兼用。システム経費が高額。	
	雫石町	定時定路線	
	四万十市	旧中村町方式。停留所間を無制限に運行。システム経費が高額。	
	世羅町	周辺地域と中心市街地をドア to ドアで結ぶ。便数制限有り。	10~11
	多治見市	定時定路線	
	土浦市	利用は65歳以上限定。年会費9,000円+利用1回500円。	
	中川村	スクールバスに特化	
	米原市	10エリアを設定。基本運賃は300円で、移動距離による加算制。	
	前橋市	市の一部で実施。システム使用。停留所間を無制限に運行。	
みなべ町	基幹ルートと寄り道ルート。便数制限有り。		
南相馬市	旧小高町のe-まちタクシー。ドア to ドアでダイヤあり。		
三好町	タクシー乗降所~基幹バス乗降所を運行。		
地域住民、NPO	宇都宮市	定時定路線	12~13
	郡上市	人口362人の地区のための定時定路線	
	雫石町	医療施設送迎に特化。曜日制限あり。1日1往復。	
	土浦市	商工会議所、商店街による中心市街地活性化策として運行	
	中川村	普通自動車1台で運行	
	南相馬市	病院送迎に特化。4路線を1日1往復	
	四日市市	生活バス「よっかいち」。病院と買物を目的とした運行。	